

DLab⁺ Partners Workshop 2024



Institute of Science Tokyo
DLab⁺, Institute of Future Science

Public version

About DLab

未来社会DESIGN機構 (DLab) は、「人々が望む未来社会とは何か」を、社会の一員として考え、デザインすることを目的として2018年9月に設置されました。

DLabでは、30～50年先の「ありたい未来」を描き、その未来を実現するために必要となる科学・技術や政策などとあわせて社会に提示します。

そして、10月に東京科学大学が設立したのは、未来社会創成研究院 DLab+として活動が続いています。

DLab+パートナーズ

会員が所属や立場を超えて自由に未来へのアイデアを出しあう「未来を考えるオープンな場」として2020年度から発足し、今年度は7月にキックオフミーティングを開催しました。

この場で得られた全ての情報・成果は、共有・公開を原則とします。未来を考える取組を行っている組織間の交流・共創の場として、また情報交換の場としてご活用いただくことができます。

昨年度から2社減 7機関でスタートしました



INSPIRE

ULVAC



日鉄興和不動産

EPSON
EXCEED YOUR VISION

KOKUYO

HITACHI
Inspire the Next

株式会社 日立ソリューションズ・クリエイト

&

Institute of
SCIENCE TOKYO

2024年度の活動 Summary

Part 1

9月、12月

パートナーズ共創ワークショップ コミュニケーションに関する「問い」を考えてみる

キックオフミーティングで事前課題をシェアし、気になるFuture Bookmarkを絞った結果、今年度取り組むテーマは「コミュニケーションに関する「問い」を考えてみる」となりました。1日目はグループワークで対話を重ねて発想を膨らませることにより生じたアイデアやキーワードから隠れた本質の掘り起こしを行い、2日目はさらなる気づきによるテーマの具体化と良い問いに応える表現物の検討を経てグループごとに問いを選択し、課題を完成させる新しいアイデアの創出を導きました。

1日目、2日目とも対面での実施となり、Science Tokyo教員による話題提供も行いました。

Part 2

10月~12月

未来社会デザイン入門とのコラボ ～学生とともに考える未来～

前年度と同様に学士課程1年生向け「未来社会デザイン入門」講座とのコラボを行いました。今年も2050年発行の未来新聞を学生が制作しました。2024年度は講義に加えてグループワークを活用し、とくに「いじめ」「ハラスメント」「いきづらさ」のない社会と未来をつくるにはどうすればいいのかに焦点が当たり、各社の取り組みも交えて未来新聞へのインプット情報になりました。また、テクノロジーを活用した実験を講義に取り入れ、学生の新聞制作グループワークにパートナーズ会員がアドバイザーとして加わり、学生からの質問や、アイデアへのフィードバックも行いました。

DLab+ パートナーズ キックオフミーティング

July. 2nd @716, West Bldg. 9, Ookayama campus

Agenda

15:00 -
| イントロダクション

15:10 -
| 今年度の授業紹介

15:30 -
| 本日のワーク説明

15:40 -
| グループワーク

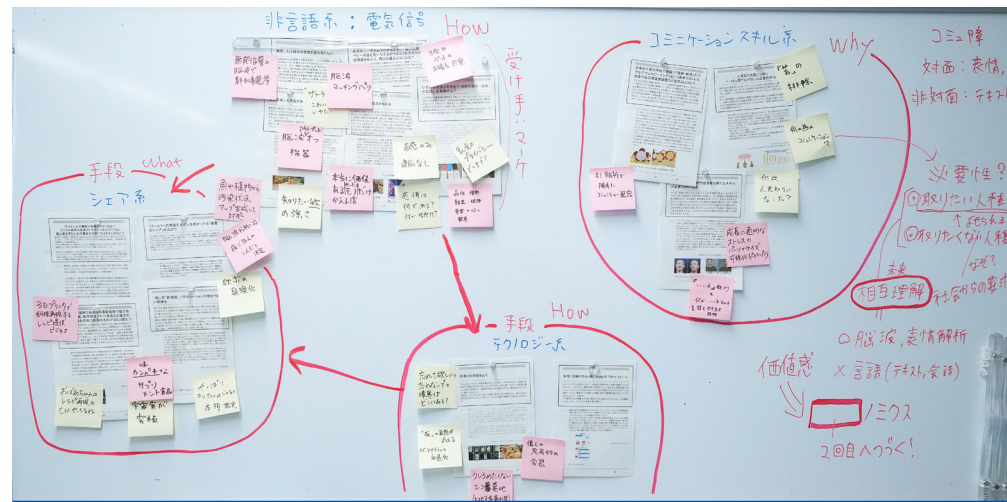
16:40 -
| まとめ

17:00
| 閉会

テーマ：コミュニケーションの未来

- 1 | グループで事前課題をシェアする
気になるFuture Bookmarkと気になった理由を順番に発表していく
- 2 | グループ内で対話と気づきを重ねる
思いついた良いアイデアやキーワードをどんどんメモしていく
- 3 | 取り組むテーマの輪郭を捉える

全体共有し、次回以降の取り組みテーマや内容を設定する

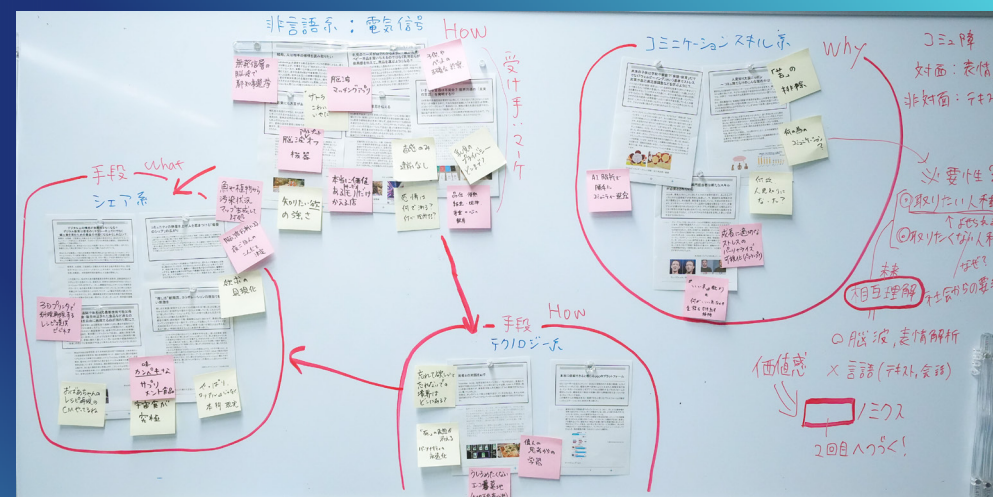
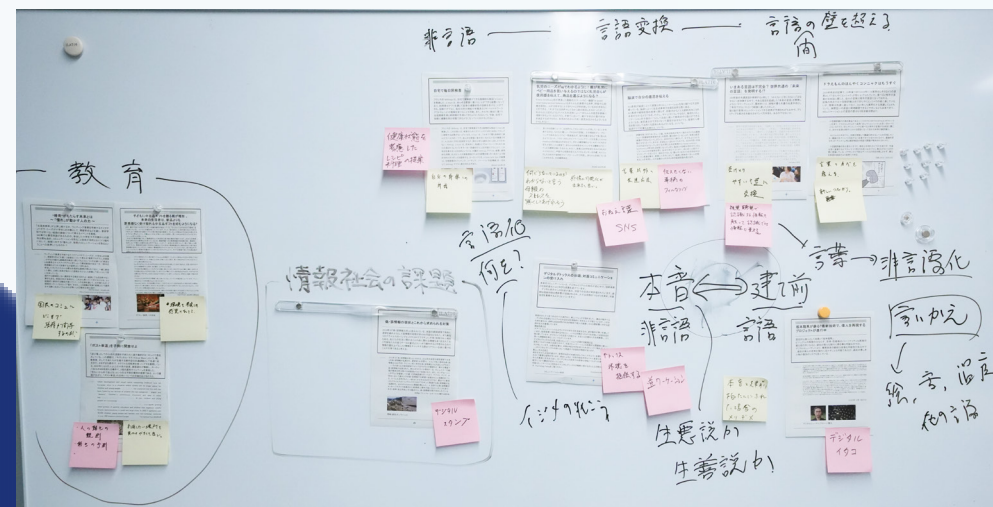


メモしたアイデアを
ホワイトボードに貼
りだしていくことでア
ウトプットイメージ
を捉える

Future Bookmark 用のシート

Future Bookmark		001
簡潔でキャッチーなタイトル。できれば1行で。		
記事のまとめと考察など。まずは記事の内容をごく簡単に要約してください。元の記事なしでも内容が大まかに分かるように。その上で自分の意見や感想を書いてください。「なぜその記事が未来の芽になると思ったのか」「背景にあるより大きな問題」など。主観的で構いません。		
参考資料：	元の記事をここに、コピー＆ペースト。不要な部分はカットしてOK。	
イメージ：		
参考画像がある場合は、ここドラッグ	参考画像がある場合は、ここドラッグ	
キーワード：		

各グループのまとめ



Workshop Part1

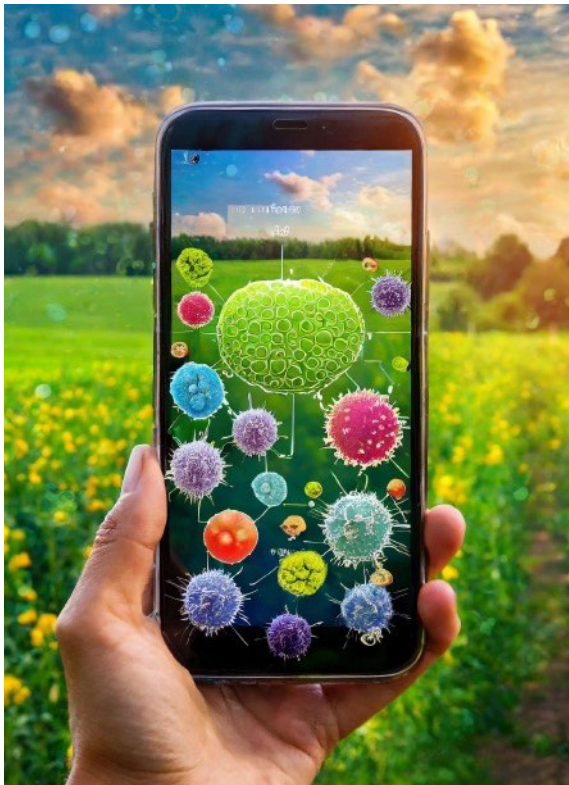
Day1: Sep. 20th @714, West Bldg. 9, Ookayama campus

Day2: Dec. 5th @716, West Bldg. 9, Ookayama campus

パートナーズ共創 WS

今年度のテーマ

コミュニケーションに関する「問い」を考えてみる



Day1の事前課題

ニュースや記事からコミュニケーションの未来に影響を与えそうな情報について、よくわからないけれど何か気になる／直感的にピンとくるという感覚で選び、所定の Future Bookmarkにまとめる

Day1

グループで事前課題を共有しながら創造性を導く良い問いの条件について発想を膨らませ、構造や関係を見直して隠れた本質を掘り起こし、議論を重ねて条件が複数まとまったらスケッチブックに記入して言語化、全体共有した上でさらなる気づきを得る

Day2

Day1で得られた条件に関連する事前課題を起点とした対話を重ねて、そこからの気づきや議論から取り組むテーマの輪郭を捉えると同時に、良い問いに応える表現物も検討した上で、グループごとに問いを選択し、課題を完成させる

Day1 | Agenda

イントロ

今年度のパートナーズワークショップについて

話題提供

(株)博報堂 研究デザインセンター
上席研究員・イノベーションプランニングディレクター／
東京科学大学 未来社会創成研究院 根本かおり 特任准教授
●コミュニケーションの未来 ●Future Bookmark ●Future Centerの役割

全体共有

宿題の共有（自己紹介を兼ねて）

グループワーク

「コミュニケーション」に関する「良い問い」の創出

全体共有

発表&ディスカッション

何か楽いかな？

美とは
何か？

サザキ家は
人々好き 家族は
になつては 良いの？

どうして？

「あ、あ、
結構な、どう思う
か？」と、言ふ？

人々何
のために？
している？

サザキ家は、
が良くなる？

仕事内容を
どう評価している？

多様性を認める間い
ズロニ

あなたの知りたいこと
 知りたいことは
 何ですか？

「知ることの
 価値」

「知ることの」
 価値

富強/主権を
 監視して
 次への問い
 (金融監視板)

真実か？
 真理か？

…における
 最高とは？

同じ絵を
 見た方がいい？

知ること
 知っている
 知らないこと
 知れない？

知ることの価値を
 数えて下さい。知ることの意味を

どのような価値
 ・他人の価値
 ・なにに対する価値を
 知りたいのですか？

「みんなは悪魔だ」
 「いかに話の
 統一をしようか」

あなたの最後の
 マッセンはなに？
 (死ぬ直前に使ったことって
 なに？)

「Com」英に
 英にしたいことは何ですか？
 or
 何を「英」にしたいですか？

五感を花びら
 びらびら
 何にしたい？

「知ることがあること」
 を本当に知りたいか？

「ニコニコ」
 がされること
 どうしたらいい？

「ニコニコ」
 がされること
 どうしたらいい？

「ニコニコ」
 がされること
 どうしたらいい？

「ニコニコ」
 がされること
 どうしたらいい？

「ニコニコ」
 がされること
 どうしたらいい？

「ニコニコ」
 がされること
 どうしたらいい？

コミュニケーション

- ・ 1人ではできない 相手があつたぞ
- ・ 他者に対する意思表明
- ・ 必要、生物
- ・ 前提条件を理解している

創造性を導く良い問

- ・ 思ひ外れのアクリットがある
- ・ 自分の考えている事以外の以上
- ・ 言語化ができていない何か
- ・ ワクワクする、ひらめき
- ・ 相手に 考えてもらう問い 自分を持たせる

前提条件のすりあわせをしないでも 共通の理解

タイミング
×
信頼×尊敬

Day1 各グループのまとめ

なぜ人は 生きているのか？	哲 学 的	属 人 的	今日何を食べたい ですか？ ↑ いのいばり
20年後 あなたは何か コミュニケーション をとりますか？	未 来 的		休みの予定 は？

タイミング
×
信頼・尊敬

・いさひの？ →	・何年続いた？ いいう？ ・いつきむの？と 考えられたの？ ・何年を考えた？	・かみをいいう？ デザイン = 人の作り ・デザインは間う 連続 ・未来を考えたデザイン シート紙い	・大衆をこころ いいうか？いいうか？ ・かみ形状 = 決断 ・大衆を米田 人並いいうか？いいうか？ ・誰かに入らなくて
限界を 作る間い	極限を 考え問い	間い連続 縫い ⇒ 既製概念を 取り除く	自分とて 見る間い

言いたいことを
言わずに目的を
達成する為には、

自分が
もう一人自分
どんな事か？
できるのか？
良い事があるか？

100年後の
被曝進化
上から下
下から上

100年後の
家族のカタチは
どうなっている
だろうか？

Day2 | Agenda

話題提供

(株)博報堂 研究デザインセンター 上席研究員・イノベーションプランニングディレクター
／東京科学大学 未来社会創成研究院 根本かおり 特任准教授

個人ワーク

今日の気づきと前回の振り返り

グループ ワーク

- 1 気づきの共有、文章化
- 2 「コミュニケーション」に関する「良い問い」を複数創出する
- 3 「良い問い」を体現すると同時に「良い問い」に応える表現物を検討する

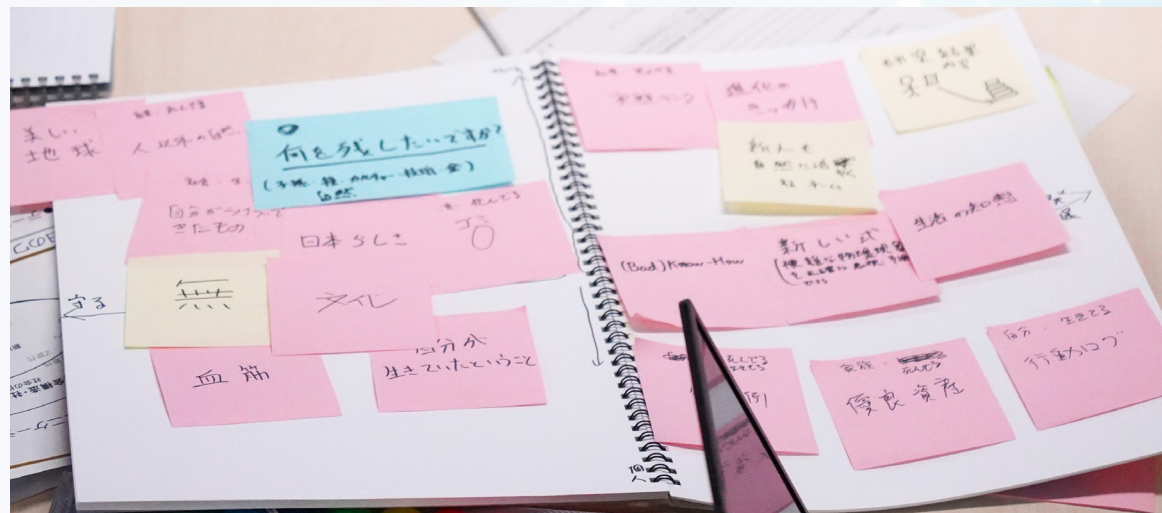
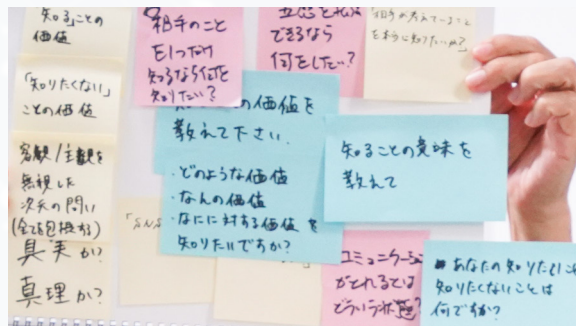
ファシリテーター より共有

アウトプット形式の企画を立て、ChatGPTや
生成AIのアプリなどを利用して問いを描かせる

全体共有

グループで課題を表現物として完成させ、発表する

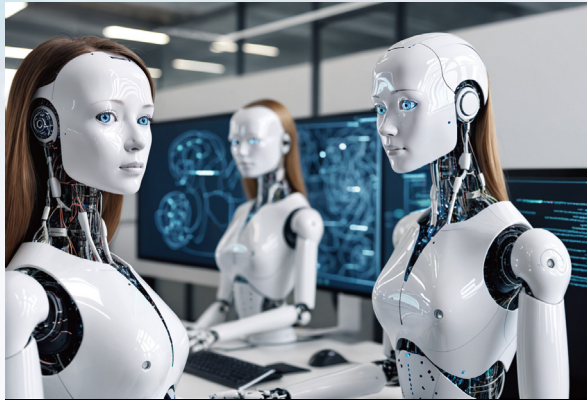
会員による「問い」への集約



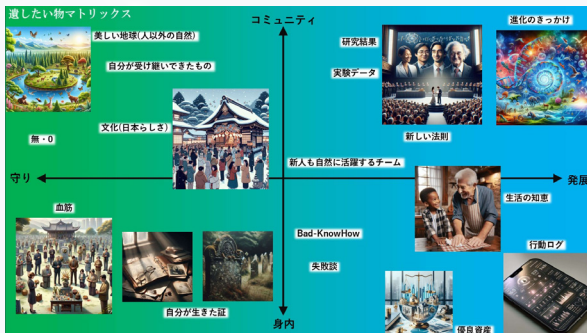
タイミング
×
信頼・尊敬

Day2

会員による表現物への落とし込み



それは自分の本心か？

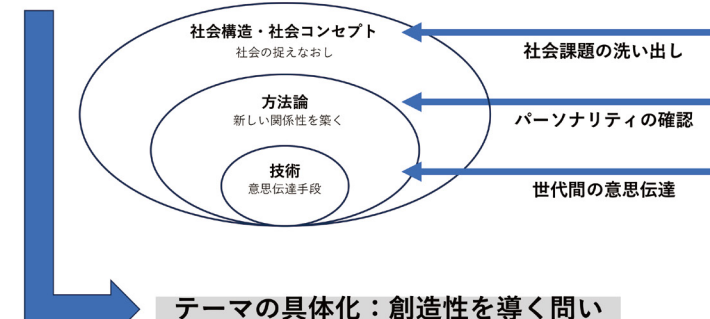


私達は、なぜ生きているのか？
生かされているのか？

コミュニケーション



本活動のテーマ：未来のコミュニケーションを考える



答えが定まっていない問い



多様性を認める問い
⇒何を残したいですか？

Workshop Part 2

DLab+コラボ企画

Introduction to the Design of Future Society

DLab+パートナーズ

- マツダ株式会社
- 株式会社インスパイア
- 株式会社アルバック
- 日鉄興和不動産株式会社
- セイコーエプソン株式会社
- コクヨ株式会社
- 株式会社日立ソリューションズ
・クリエイト

(入会順) 2024年度パートナーズ企業7社



2024年度 教養特論 未来社会デザイン入門



柳瀬 博一 教授
メディア論



治部 れんげ 准教授
ジェンダー論・経営学

リベラルアーツ研究教育院

2050年の「望ましい未来の社会」を考える

～「いじめ」「ハラスメント」「いきづらさ」のない社会と未来をつくるにはどうすればいいのか～

2024年度3Q 教養特論「未来社会デザイン入門」全7回 2024年10月7日-12月2日 毎週月曜日13:30-15:20 @西9号館716, 大岡山キャンパス

講座	日時	概要	受講学生	パートナーズ会員
第1回	10/7	・オリエンテーション ・参加企業との顔合わせ	・未来予測データの収集 ・グループワーク	出席企業の自己紹介
第2回	10/21	企業におけるハラスメントやいじめ問題、メンタル問題についての取り組みを発表と学生たちとの意見交換	・SDGs事前調査をグループで共有 ・グループ単位で発表	・ハラスメントやいじめ問題、メンタル問題についての企業の取り組みを発表 ・意見交換
第3回	10/28	「名札型センサー」を活用したグループ授業の実践 (三宅美博情報理工学院教授)	・SDGs事前調査をグループ単位で発表し、共有(継続) ・グループワーク	聴講
第4回	11/11	「見守りWi-Fiセンサー」実験 ・インスパイアとおきでんCplusCの実演 ・学生実験	・「見守りWi-Fiセンサー」の活用 ・グループワーク	各グループにオブザーバーとして入る
第5回	11/18	名札型センサーと見守りWi-Fiセンサーを活用したハラスメント、いじめ対策のアイデア出しと中間発表	・新聞制作の講義聴講 ・グループ単位で未来新聞の制作開始	各グループにアドバイザーとして参加し、学生からの質問、意見に答える
第6回	11/25	2050年の未来新聞制作 (前回のアイデアをもとに、いじめ、ハラスメントのない世界の新聞)	引き続きグループで未来新聞を制作	各グループにアドバイザーとして参加し、学生からの質問、意見に答える
第7回	12/2	未来新聞発表と講評	グループ単位で未来新聞を発表、共有	・未来新聞への投票、講評 ・授業へのコメント

DLab⁺ Partners Workshop 2024